

# とやまの 年中行事



富山県教育委員会



# はじめに

富山県教育委員会では、平成16年度から「とやま文化財百選」事業を行なっています。これは、県内各地に残る身近な文化財を対象に、郷土の誇りとして末永く受け継いでいきたいものを選定して、県民の皆さんが、ふるさとの文化財の価値を再認識し、地域ぐるみで保存・活用していくきっかけにして頂くことを目的とした取り組みです。平成16年度の「土蔵」、同17年度の「獅子舞」、同18年度の「祭り」に続き、今年度は富山の生活・風土に密接に関連する「年中行事」をテーマに、「とやまの年中行事百選」として選定を行ないました。

このガイドブックは、富山県内に残る年中行事の特徴や魅力とともに、選定された年中行事の概要について紹介したものです。

年中行事は、産業、気候、地形などの違いにより様々な種類のもものが継承されてきています。今回は、そんな年中行事のうち、民俗芸能や競技を伴わないものを選定の対象としました。身近な文化財である年中行事について、一層の理解と関心を深めて頂く手がかりとなれば幸いです。

## 目次

|                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| 1 季節を感じる、とやまの年中行事…… 1 | 6 「とやまの年中行事」百選    |
| 2 年中行事の背景にあるもの…… 1    | 春 …… 6            |
| 3 とやまの年中行事の種類…… 2     | 夏 …… 33           |
| 4 とやまの年中行事の特徴…… 3     | 秋 …… 64           |
| 5 とやまの年中行事あれこれ …… 4   | 冬 …… 78           |
|                       | 二十四節気と五節句、雑節      |
|                       | 『とやまの年中行事』百選カレンダー |
|                       | 『とやまの祭り』百選一覧      |

年中行事は正月から始まり春夏秋冬の順で、かつ、開催日の早いものから掲載しています。

データは、平成20年3月現在のものです。見学の際には、事前にご確認ください。

取り上げた年中行事の中には、主催者の事情等により見学が難しいものがあります。

『とやまの年中行事』百選は、性格の違いによる分類から以下のマークで分類しています。



季節に関する行事



生業・産業に関する行事



社会生活に関する行事



信仰に関する行事

## 1 季節を感じる、 とやまの年中行事

人々は、昔から生活の節目に、健康や安全、豊作、商売繁盛を祈り、先人を敬い様々な行事を行ってきた。行事をひとつ行うたびに季節の移ろいを感じた。

正月。新年の幸福を祈り寺社に参詣する。寺社では新年を祝い祭礼が執り行われる。

節分。立春を翌日に控えたこの日。まだまだ富山は冬。そんな中、邪を祓い、福を招く豆まきの声が響く。

子供の健やかな成長を祈り、3月の桃の節句には、女子のいる家庭で艶やかなお雛様が飾られる。5月の端午の節句には、男子のいる家々に鯉幟が泳ぐ。



梅雨から夏の盛り。稲の害虫や病気を払うため虫送りやネツオクリが行われ、願いや穢を託して七夕が行われる。

残暑の頃。盆を先祖とともに過ごすためオショウライの火が焚かれ、子供の加護を祈願して地蔵盆が行われる。

大掃除や正月飾りを済ませ、迎える大晦日。大祓えのために神社に行き、除夜の鐘を突きに寺に参詣する。

そしてまた、新たな年を迎える。

## 2 年中行事の 背景にあるもの

年中行事は、その土地の歴史・風土から成り立つ。

本願寺8世の蓮如が布教活動を行って以降、浄土真宗が人々の生活に深く根付いた。また、古代以来の立山信仰は、江戸時代におおいに栄え、全国から多くの人々が立山を訪れた。



立山町芦峯寺の石仏群

また、江戸時代には、富山の売薬・製薬業、高岡の鋳物産業などの地場産業が生まれた。北前船など水運の発達は、東西の文化の交流を活発にし、物資とともに各地の風俗・習慣が伝わった。

自然的な要因も大きい。背後に高い山々を抱え、そこから流れ出る河川は、豊富な水を湛えて一気に富山湾に注ぐ。河川は、広い扇状地を形成し、県中央部に横たわる呉羽丘陵は県を東西に分ける。扇状地は古くから農地として利用され、氾濫はしばしば大きな被害をもたらした。また背後にそびえる山々のため、夏は高温多湿となり冬は寒く雪に閉ざされる。また、春や秋にはフェーン現象の乾いた強風が吹く。北陸独特の自然環境である。

### 3 とやまの 年中行事の種類

富山県の歴史・風土は人々の営みに大きな影響を与え、地域ごとで多様な年中行事が行われている。

#### 1 季節に関する行事

1月1日を中心に行われる正月行事、1月15日を中心に行われる小正月の行事、節分や七夕などの節句行事、旧盆・新盆に行われる盆行事、その他の5つの行事に細分できる。



家の軒先に飾られる七夕

#### 2 生産・生業に関する行事

農耕に関する行事、漁労に関する行事、林業・狩猟に関する行事、商工業に関する行事、運輸に関する行事の5つの行事に細分できる。生活の基盤である農耕に関する行事は多いが、あまり発達をみなかった運輸に関する行事は少ない。



模擬水田に田植えをして豊作を祈る

#### 3 社会生活に関する行事

人々がひとつの目的に集まり健康や安全などを祈る講に関する行事、風や水や火などの自然災害からまぬがれることを祈る行事、地域の発展や村を救った偉人・義人の顕彰など特定の事由等を起源に行われる行事、その他の4つの行事に分けられる。地域の気候や歴史に関する行事が多い。



霧の被害がないことを祈る

#### 4 信仰に関する行事

様々な災難を払い落とすために行われる厄払い行事、人々の吉凶を占って行われる占いの行事、仏教をはじめとする信仰心に基づいて行われるその他の行事の3つの行事に分けられる。



かつて取替え行事に使われた土人形

## 4 とやまの 年中行事の特徴

富山には、多種多様な年中行事があり、特徴を挙げてみると次のようになる。

① 天神信仰にまつわる行事が多くみられること

天満宮で行われる天神祭のほか、男子がいる家では天神様の軸や木彫りの人形などを正月の床の間に飾る風習がある。



各家庭の天神様の掛軸

② 売薬、製薬業に関する行事が継承されていること

富山の代表的な伝統的地場産業のひとつである売薬・製薬に関する行事が、先人の遺徳をしのぶと同時に、これからの発展を祈願して、売薬業、製薬業者によって伝承されている。

③ 浄土真宗の行事である報恩講、御影様、太子信仰などが多く残ること



浄土真宗寺院の太子像

本県は圧倒的に浄土真宗の信徒が多く、「真宗王国」といわれる。浄土真宗の行事やしきたりが生活慣習に深く根付いており、報恩講や聖徳太子絵伝の絵解きなどが脈々と受け継がれている。なかには地域の大きなイベントとして、様々な催し物が行われるなど盛大になっているものもある。

④ 水神を祀る行事が多くみられること

水神に水の恵を感謝する一方で水害を被らないよう祈る行事が県下各地でみられる。



マンドウサマ

⑤ 風神を祀る行事が多くみられること

砺波地方、南砺地方と神通川流域のフェーンによる強風の被害が多い地域に風神を祀る神社が点在する。



不吹堂

## 5 とやまの年中行事 あれこれ

### 北陸地方に特徴的な行事

エビス様（おおべっさま）迎えやキシユウ（起舟）は、北陸地方の特徴的な行事である。

エビス様（おおべっさま）迎えは、奥能登地方で行われている田の神迎えの行事であるアエノコト（国指定重要無形民俗文化財）と同類の行事である。しかし近年、多くが途絶え、今回確認できたのは1ヵ所のみだった。

キシユウ（起舟）は、漁師の正月と呼ばれ、石川県から富山県にかけて行われる。冬の間休んでいた舟を起こし、漁の準備・予祝（前もって豊漁・豊作を願う）を行う行事である。



おおべっさま迎えの御膳

### 立山信仰関連の行事

立山町芦峯寺のおんば様のお召し替えは、立山信仰を今に伝える行事である。嬬尊（うばそん）は、明治時代初めの廃仏毀釈により姥堂が壊されたため閻魔堂に移されたが、古来、立山信仰の中心尊として信仰された。

その他、近年、現代風にアレンジされ復元された布橋灌頂会も江戸時代末まで

は立山信仰の重要な行事だった。



復元された布橋灌頂会

### 大火を伴う行事

火は、行事において神聖なものである。「神や先祖霊の迎え火や送り火」、「害虫や厄を焼き払い清める火」という意味があり、大火を伴う年中行事が多い。

大火を伴う行事には、左義長、虫送り、七夕行事、オショウライ、神送り・神迎えなどがある。



神社で行われる左義長

### 神饌について

神饌とは、神社や神棚に供える供物のことで、米、塩、野菜、果物、酒などである。

供えられた神饌は、神事の最後に直会で食される。神と同じ物を食することを「神人共食」といい、神の加護を求めて行われる。

行事によっては珍しいものを供える例

がある。これを特殊神饌という。たとえば、氷見市伊勢玉神社の柿天神の柿や射水市下村加茂神社の鯛分け神事の鯛などがこれにあたる。



下村加茂神社鯛分け神事の特殊神饌の鯛

なお、五箇山地方や氷見市宇波では、神饌として、一晩水に浸したうるち米を潰した「しとぎ」や、それを水でこねて固めた「しとぎ餅」が供えられる。一般的な餅が供えられるようになる以前の神饌の形態と考えられている。



しとぎ作りの様子

### 小正月の行事

穀物の豊作祈願に関する様々な行事が行われ、農業が生活の基盤であった時代には重要視されてきた。

この時期、団子を入れた小豆粥を食べたり、若木迎え、繭玉おろし、鳥追いなど多くの予祝行事が農家を中心に行われていた。しかし、昨今ではそれらの多く

が廃れてしまい、左義長と神社の神事として残った鳥追い以外は、成木責めがかるうじて残るのみである。



繭の形の団子入りのぜんざい

### 子供が主体となる行事

子供が重要な役割を果たす行事がある。氷見市の小境の大晦日の宮籠もりは、すべて子供たちにより行事が執り行われる。子供たちが、神様に代わり初詣客に挨拶し、御神酒を振る舞う。



初詣客に挨拶する子供たち

高岡山町筋の夏祭りや利屋町の天神祭り（ともに高岡市）では、高岡関野神社から祭神が町内に迎えられ、運搬役は子供たちが担う。

その他、地蔵盆も子供たちが中心となって行われてきた。

しかし、近年は少子化の影響等で自治会や敬老会、寺院が中心となっており、ところが多い。

## 6 「とやまの年中行事」百選

### 1 下村加茂神社の鰯分け神事【市・無形】



**開催場所**：射水市加茂中部（下村加茂神社） **開催日**：1月1日

**概要**：塩鰯6本を1本ずつささげ上げ、献納した地区名を読み上げた後、口紙した料理役が大まな板の上で鰯を三枚におろし切り分ける。鰯4本と鏡餅は氏子に分配され、各家庭であぶって食べて無病息災、家内安全を願う。



### 2 芦峯寺のミヤマイリ(歳旦祭)



**開催場所**：立山町芦峯寺  
（芦峯寺雄山神社）

**開催日**：1月1日

**概要**：参詣者すべてが正装して、オハナイとオミキズズに入れた御神酒を持って参拝する。祈願殿で神官からトシモチを家族数だけもらい、御神酒をいただきその後、大宮、若宮、開山堂の順に参拝する。





### 3 今生津のお日待ち



**開催場所**：富山市今生津（総代宅等）

**開催日**：今生津1月19日

**概要**：男性だけが総代宅や寺の世話方の家に集まり、鏡餅を作って寺に供える。夕食後、寺の庫裏でタキモンを焚いて茶を飲み世間話をしながら夜を明かす。明け方に朝座といって本堂で和尚の読経があり、お鏡を切って分けてから散会する。寺ではお日待ち札（祈祷札）を配る。



### 4 鯉の厄払い放流(金屋神明宮厄払い祈願祭)



**開催場所**：砺波市庄川町金屋  
（金屋神明宮）

**開催日**：1月7日

**概要**：厄年（25歳）を迎えた青年たちが神明宮で厄払い祈禱を行った後、庄川の川べりで大きな鯉にお神酒を飲ませ、青年たち一人一人が鯉に手を触れて災厄を移す。その後、鯉を川へ放流する。

## 5 滑川の神農祭



**開催場所**：滑川市（売薬業者宅）

**開催日**：1月8日

**概要**：売薬業者宅では、床の間に医薬の神である神農像や絵像を吊り下げ、供物として懸場帳（かけばちょう）、筆、柳行李（やなぎこうり）を供え、1年の安全と商売繁盛を祈る。当日は加積雪嶋神社にある薬神社も参詣することになっている。

## 6 宮崎のエビス講



**開催場所**：朝日町宮崎  
（漁師の家）

**開催日**：1月10日晚

**概要**：漁師の家で親戚、持ち舟関係者が集まり飲食をする。現在は船子のいる家がないため、舟に舟玉のお札と鏡餅、おごしを供える。各家では鹿嶋神社から配られるエビス様、大黒様の版画を神棚に飾り、酒などを供えて豊漁、安全祈願をする。



## 7 岩稲のお鋤様



**開催場所**：富山市岩稲

(個人宅)

**開催日**：1月11日朝

**概要**：雪の田畑に豆がらを立てて明きの方に向かって鋤を打ち、その後家に戻り、床の間に田の神として三ツ鋤、畑神として平鋤を座布団の上に置き、それぞれの前に御膳を据えて夫婦でもてなす。



## 8 楡原のお日待ち



**開催場所**：富山市楡原（上行寺） **開催日**：1月第4土・日曜日

**概要**：元は、男の大厄（四十二才）の厄払いとして行われてきた。厄年の人は鏡餅をつき、酒とともにお供えし、一夜を寝ずに日の出を待ち、太陽（日天子）の恩恵に感謝して、無病息災を祈念する。その後、鏡餅を親類や近所に配りみんなに厄払いしてもらう。

## 9 吉見の一味同心を誓う祭り



**開催場所**：南砺市吉見（吉見八幡社） **開催日**：正月・春・夏・秋・冬の年5回  
**概要**：正月、春祭り、夏越しの大祓え、秋祭り、年越しの大祓えに行われる。家内安全、五穀豊穡などを祈る神事ののち、各自が徳利に持ち寄った酒を半分ずつ大きな瓶に入れて回し飲みをする。氏子同士が団結して仲良くしていくことを誓い合う儀式。徳利の残りの酒は家に持ち帰り家族が分けて飲む。



## 10 左義長

**開催場所**：県内各地（神社、グラウンド等） **開催日**：1月14日前後

**概要**：一般には迎えた歳神を正月飾り等と焼くことで炎と共に見送る意味があるとも、年の初めの満月（旧暦）の晩に降りてくる歳神の目印に火を焚くともされる。田などに長い竹を組んで円錐形の左義長を作り、そこに正月飾りや書き初めを持ち寄って焼く。その火で焼いた餅は年の病を除くとか、書き初めを焼いた炎が高く上がると字が上達すると言われる。

### 10-1 黒部市宇奈月町下立「おんづろこんづろ」



**開催場所**：下立神社境内

**概要**：投げ入れた書き初めが燃えて舞い上がる様子を大鶴、子鶴にみたててこのように呼ばれるようになったといわれている。

### 10-2 富山市山田沢連地区

**概要**：集落主催で開催される。



### 10-3 富山市八尾町野積地区

**概要**：地区の主催で行われている。



### 10-4 射水市加茂地区

**開催場所**：加茂神社脇の水田

**概要**：地区主催で行われる。子供たちが各家から藁を集め、それを竹の骨組みに取り付け書初めや正月のお飾りを焼く。



## 10-5 高岡市東五位地区

**開催場所**：東五位小学校のグラウンド

**概要**：各集落で行われていたものが、40年あまり前から地区でまとまって行われるようになった。校下の児童クラブが主催となり行われ、1週間前に竹が組まれる。



## 10-6 高岡市福岡町山王地内

**開催場所**：山王公民館グラウンド

**概要**：毎年新しい注連縄が作られる江尻神社の古い注連縄をはじめ、各家庭の正月飾り、書き初めなどを焼く。



### 10-7 砺波市太田地区

開催場所：水田

概要：地区の子供たちが大人たちの指導のもと、竹、藁、萱で左義長を組み上げる。  
点火前に左義長の歌を唄う伝統的な手法を残す。



### 10-8 砺波市庄川町青島地区

開催場所：庄川中学校グラウンド

概要：太い孟宗竹と藁や豆殻で左義長を組みあげる。火をつける前に神事が行われ、一年間の無病息災を祈る。





### 10-9 南砺市川上中地区と次郎丸地区（奥）

**開催場所**：地区境の水田

**概要**：二つの地区の左義長がそれぞれの地区の主催で数百mを隔てて行われる。借景としてスキー場のナイターの灯りがともしり幻想的である。



### 10-10 南砺市蓑谷地区

**開催場所**：水田

**概要**：子供会が主催となり行われる。先に手前のオドシと呼ばれる小さなものに火がつけられ、追って大きなものに火が入る。



## 11 下村加茂神社の鳥追い



**開催場所**：射水市加茂中部（下村加茂神社） **開催日**：1月15日

**概要**：昭和初期まで「鴨ボイ」といい「ホワーイ、ホワーイ」と言いながら田を回った。新芽などを食い荒らす鳥を追い、豊作を祈る行事である。深夜、板木を叩きながら「ホワーイ、ホワーイ」と言って境内を巡る。

## 12 勝興寺御満座法要



**開催場所**：高岡市古国府（勝興寺） **開催日**：1月14～16日

**概要**：親鸞聖人の命日を中心に「御満座」の行事が行われ、約150kgのデカロウソクを灯して、住職等の読経や参拝者の「正信偈（しょうしんげ）」の唱和があり、人々は聖人の遺徳を偲んで語り合う。

## 13 速星の成木責め(カキノキ カキノキ)



**開催場所**：富山市婦中町速星（個人宅） **開催日**：1月15日

**概要**：朝食に小豆ぜんざいを食べ小正月を祝ったあと、残しておいた小豆ぜんざいの汁を椀に盛り自宅に隣接する畑に行く。手に鉈を持ち柿の木の前に立ち「出っ来っかー、出っ来んかー、出っ来んにゃ、ちょん切るぞ」と唱えて、幹に鉈の刃を2・3回あて、手で樹皮を少し剥く。その後、鉈をしまい、樹皮を剥いた箇所小豆ぜんざいの汁を匙で2・3回かける。

以前は何軒かの家が行っていたが、近年、実施している家は1軒のみとなった。

## 14 東猪谷の数珠くり



**開催場所**：富山市東猪谷（宝樹寺） **開催日**：1月20日

**概要**：浄土宗開祖法然上人の命日に当たる御忌に、門信徒や厄年の人ら30人程が本堂に集まり、住職の読経に続いて全員で上人の遺訓一枚起請文を唱えた後に数珠くりをする。全員が輪になり鉦鼓にあわせて「南無阿弥陀仏」を唱えながら長さ10m程の数珠を時計回りに30分程回す。参加者は家内安全と無病息災を祈る。厄年の者は大きな蠟燭を仏前に献じて厄払いを祈る。

### ちょっとコラム 小正月の廃れてしまった行事

小正月の行事は、各戸で伝承され行われてきたものが多く、時代の移り変わりとともに、急速に廃れてしまった。ここでは、そうした行事をいくつか取り上げてみる。

**若木迎え**：新年初めて山に入り、一年間の山仕事の安全や健康を祈願する。また、その際、小正月行事に使う木を切って帰る。

**箸焼き**：十二膳の箸を焼いて、その年の農作物の出来を占う。

**いねこき**：枝につけた餅で作った繭玉を手でこき落とし、豊作を祈願する。

**小豆粥**：小正月の朝に食べられた。粥に入れる団子を稲株に見立て、大きな団子に稲株の成長を祈願した。また、農具の模型を作り、小豆粥を水田に見立てて農作業の模擬を行う。終わった後は、農具を洗い神棚に上げて豊作を祈願する。



## 15 愛宕神社(魚津神社)の火祭り



**開催場所**：魚津市中央通り（魚津神社） **開催日**：1月26日

**概要**：火事が続いたので、火消しの纏（まとい）に似せた大御幣を作り、火伏せの神を祀る愛宕神社に奉納したことが始まりと伝えられている。各町内で作られる大御幣は、高さ5～6mもある青竹の竿頭に榊をさし、神籬（ひもろぎ）と天狗・おかめの面扇子に麻をかけたものをつけ、さらに飾り付けをする。26日に愛宕神社で御神札をもらい、これを大御幣に結びつけ、その後、愛宕神社の神前に大御幣を持ち運んで再び祈祷を受け、神前で焼納する。

## 16 節分会



**開催場所**：県内各地（浄土真宗寺院以外の寺社、各家）

**開催日**：2月3日

**概要**：鬼に豆をぶつけることで邪気を払い、一年の無病息災を願う。一般家庭のほか、浄土真宗寺院以外の寺社で行われている。寺院では年男・厄年等の男女が豆をまく。

## 17 布尻・町長のお日待ち



町長地区

**開催場所**：富山市布尻・町長  
（各自治公民館）

**開催日**：布尻2月7日、町長2月8日

**概要**：夜8時頃から集落の人たちが集まり、不動明王と十三仏の軸を掛け、龍高寺の僧侶が祈祷と法話を行う。また、厄年の男女の厄除け祈願をする。各家の家祈祷の配札も兼ねる。



布尻地区



## 18 山祭り

### 18-1 笹川の山祭り



**開催場所**：朝日町笹川

(諏訪神社)

**開催日**：2月9日

**概要**：神社の役員である宮総代と笹川地区の自治振興会の役員が参拝して行われる。山を天災から守り、山の万物の生命の豊かな生育を祈るとともに、山の仕事に従事する人々の安全を祈願する。

### 18-2 舟見の山神祭り

**開催場所**：入善町舟見

(山神社)

**開催日**：2月9日

**概要**：山の仕事をする人のお祭りで、神主と僧侶が合せて祝詞とお経をあげる神仏混淆の様相をみせる。周辺の間々から集められた自然石の山神が御神体とされ、後に観音菩薩石像が併置された。



### 18-3 下立の山の神祭り



**開催場所**：黒部市宇奈月町下立（個人宅） **開催日**：2月9日

**概要**：この日は山仕事を休み、山神様に感謝してご馳走を振る舞う。夕暮れ時、家の近くの水田に雪で「ドウグラ」と呼ばれる祠をつくり、家族でお参りする。山神様のご馳走は、家の中の山が見える窓際に供える。





## 19 キシュウ（起舟）

**開催場所**：氷見市灘浦地区

**開催日**：2月10日

**概要**：当日、灘浦定置漁業組合所属の漁船に大漁旗を飾り、地区内の神社で祭典が斎行される。本来は、網元や船元単位で水主を集めて各家で行われていたが、近



年は地区が主催する。そのため、漁労に従事する人だけでなく、地区内全戸から戸主が参詣する。「起舟祭」のあと「祈念祭」が行われ、大盃を回して直会となる。



## 20 福光の検地祭



**開催場所**：南砺市福光（知源寺、西岸寺、願全寺（宿寺は毎年交代））

**開催日**：2月15日

**概要**：江戸時代、福光村の田租減免を求めて加賀藩へ直訴した6人が死罪となった事件があった。村ではこの犠牲者の徳をしのび地藏堂（六地藏）を建て、毎年忌日に三カ寺が交代で法要を営んできた。



## 21 開の券（検）地報恩講



**開催場所**：滑川市開（自治公民館） **開催日**：2月17日

**概要**：開地区の66戸で構成されている講である。寛政5年（1793）下新川郡田家新村の孫右衛門が中心となりこの地を開墾した。その検地を記念して、検地報恩講を開いたとされる。本尊を特に「券地如来」と呼んでいる。

## 22 涅槃会



**開催場所**：各地（浄土真宗以外の寺院） **開催日**：2月中旬あるいは3月中旬

**概要**：釈迦入滅の日の法要。法会の後、「ねはんだんご」と呼ばれる鮮やかな色彩の団子を撒く。この団子は、無病息災を祈って食べられるほか、交通安全等のお守りなどにされる。

## 23 つごもり大市



**開催場所**：南砺市城端 **開催日**：2月28日

**概要**：約350年前、寛文元年（1661）が始まりと伝えられる。絹の産地であった五箇山との交易の起点だった城端で、商人たちが産地との決済を行った2月末に市が立ったのが由来とされる。

## 24 福光火伏神社の火伏祭



**開催場所**：南砺市福光（火伏神社） **開催日**：2月22日

**概要**：寛政3年（1791）2月22日の大火の際、鎮火した場所に「火伏石」を祀り、以来毎年、この日は町中の火の気を絶ち災禍を忘れず、防火の誓いを新たにする日とされてきた。なお、昭和54年4月11日の大火の際にも火伏石の場所で鎮火したので、平成元年に神社を建立した。この両日に町内の人々が参詣し、火災の安全を祈願する。

## 25 愛宕神社の火祭り（あたごさんの火祭り）



神火神事（火起こし）



鎮火神事



鎮火に使うひさご（ヒョウタンを割ったもの）、川菜、砂

**開催場所：**富山市愛宕2丁目（愛宕神社、町内） **開催日：**2月24日

**概要：**万治元年（1658）に富山藩祖前田利次公が始めた鎮火守護の祭り。神前で火きり具を使い火種をつくり、その忌火を神前に奉じる。続いて、社前の庭で井桁積みの薪に点火し「四種の鎮物」（水、ひさご、川菜、砂）で火鎮めをする。夜、児童クラブや長寿会で提燈に神火を奉じ町内を巡回する。

## 26 芦峯寺の山の神の祭り



**開催場所**：立山町芦峯寺（雄山神社及び祭主宅） **開催日**：3月9日

**概要**：男性のみが参加し、班長が持ち回りで祭主となる。班員は当番班長宅で前夜夜明かしし、午前2時に入浴、直ちに鏡餅をつく。午前7時に村中に触れ太鼓を叩く。未明に雄山神社前に二流の長旗を立てる。神饌を供えて参詣し、洗米を捧げる。

## 27 芦峯寺のズズクリ（数珠くり）



**開催場所**：立山町芦峯寺（閻魔堂） **開催日**：3月20日

**概要**：三千仏（の絵幅）を御堂に掛け、法要を行い、午後から先祖供養の法要のあと数珠くりをする。集落の年寄り・婦人が堂いっぱいになり、二人ずつ向き合って大数珠を読経しながら繰り回す。

## 28 芦峯寺のおんば様のお召し替え【県・無形】



**開催場所**：立山町芦峯寺（閻魔堂、開山堂） **開催日**：3月13日

**概要**：女性の年配者と婦人会員だけでオンバサマの白装束を作り、お召し替えを行う。立山信仰の伝統を引き継ぐ行事であることと、神仏混淆の名残を残す行事として貴重。

## 29 下梨の節句行事



**開催場所**：南砺市下梨

(地主神社)

**開催日**：4月2～3日

**概要**：よもぎの新芽を摘んでしとぎ餅を作る。2日に作って夜中に宮に供え、3日の早朝に各戸へ配る。一切が当番の組の男性だけで行われ、女性は手を出さないしきりである。

## 30 与四兵衛祭



**開催場所**：高岡市二番町（高岡関野神社境内の祠） **開催日**：4月3日

**概要**：江戸時代には特別の由緒のある高岡の御車山に対して、近郊の町が類似の山車を作ることは藩命により差止められていた。しかし、類似の山車が曳回されたため、津幡屋与四兵衛は町民とともに押しかけ騒動になり、捕らえられ牢死した。御車山の由緒を守った義人として祭祀を行っている。なお、春は高岡関野神社境内の祠前のみで行われるが、夏祭りとして平成3年に建立された石碑の前で与四兵衛ゆかりの人々も参列して祭礼が行われている。

## 31 大法寺の二天会・正甫公法祭



**開催場所**：富山市梅沢町（大法寺） **開催日**：4月中頃

**概要**：薬業界の祖といわれる富山藩2代藩主、前田正甫（まさとし）公の法要。正甫公や歴代富山藩主、薬種商の元祖・松井屋源右衛門、歴代県薬業連合会長などの功労者を供養する。

## 32 長慶寺の五百羅漢祭り



**開催場所**：富山市五艘（長慶寺） **開催日**：4月18日、10月21日

**概要**：五百羅漢像に無病息災などの願いや先祖の戒名を書いた赤、黄など色とりどりの「輪げさ」と呼ばれる細長い布を掛けて家内安全などを祈願する。



### 33 東猪谷・伏木・舟渡・小糸・吉野・寺津・町長の湯釜



舟渡地区



小糸地区

町長地区



**開催場所**：富山市東猪谷・伏木・舟渡・小糸・吉野・寺津・町長（各地区の宮）

**開催日**：春秋の祭りの日（4月15日・10月16日）

**概要**：春秋の祭りの祭式の後に、宮の拝殿前で湯を沸かし、神主が笹の枝の束ねたものを湯釜に浸し、周りにつくばっている参詣者に振りかけて清めるもの。その後、笹の葉を器がわりにして湯を飲む。

## 34 西大森の水神様の祭り



**開催場所**：立山町西大森（大橋地先の堤防に包み込まれた大石） **開催日**：4月24日  
**概要**：安政5年(1858)の大洪水時に流されてきた石を水神様として祀り、水害等の災害除けを祈る。

## 35 龍石神社の雨乞い祭り



**開催場所**：魚津市南又谷（龍石神社） **開催日**：5月15日頃  
**概要**：洪水を起こして退治された龍（大蛇）が巻きついて死んだとされる片貝川の川岸にある「竜石（蛇石）」を祀り、豊作と電力事業の発展を願う。

## 36 於保多神社の鶯替え



ウソ替えの土人形

**開催場所：**富山市於保多町(於保多神社境内) **開催日：**5月25日(最近はH17年に開催)  
**概要：**以前は毎年実施していたが、現在は大きな記念行事に合わせて開催。天神様ゆかりの於保多神社の宵祭り行事。菅原道真公ゆかりの鳥の「鶯」(うそ)に虚言の「うそ」をかけて一年中に吐いた虚言を神前に納めてその罪滅ぼしをする。行事に使う土人形のハトは、入手が困難になってきている。昔は、番号を書いた富山土人形のハト笛を集まった人たちが求めて「うそかえましょう」と声を掛けながらハト笛を交換し、神官がぬさで清め払ったところで当選番号が発表され、金のウソがもらえた。

## 37 諏訪神社の亀替え



亀替えの土人形

**開催場所：**富山市諏訪川原(諏訪神社)  
**開催日：**5月29日  
**概要：**あらかじめ子供たちが番号を書いた亀の土人形を販売する。神事で神主が「大麻」(紙と麻でできた神具)を使い当たり番号を選び、景品と交換する。70年以上続くというが、現在は、地域の児童会の行事として行われている。

## 38 えびす講（魚取祭）



**開催場所**：氷見市湊町・浜町・今町・池田町・新道（各町内魚取社）

**開催日**：5月20日、11月20日

**概要**：季節ごとの魚が供えられ、町内の役員や漁業関係者等が神職とともに大漁と漁の安全を祈願する。他にも、氷見浦から灘浦の海岸部で行われる。

## 39 牛嶽大明神例大祭



**開催場所**：富山市山田鍋谷、砺波市庄川町湯谷（牛岳山頂の牛嶽社）

**開催日**：6月6日、10月2日（H19は5月27日に開催）

**概要**：雪形に対する信仰から、山全体が御神体山とされる牛岳に、東西山麓の両集落の村人が山頂へ登りお参りする。20年毎に1度、本尊が開帳され大祭が執り行われる。

## 40 利屋町の天神祭り



**開催場所**：高岡市利屋町(龍雲寺) **開催日**：5月25日前後の土・日曜日

**概要**：宵祭りは、夕刻、高岡関野神社から御神体の木像天神像が運ばれ、町内を一周練り歩いた後に曹洞宗龍雲寺に入る。本祭りは、天神像の扉が開けられ、子供神輿、夕刻には龍雲寺の住職による大般若会（祈祷）が行われ、高岡関野神社の禰宜による詣（まつり）が行われる。祭りの当日「鎮火御札」が町内各家に配られる。



## 41 ひとつやいと

### 41-1 東泉寺のひとつやいと



開催場所：氷見市鞍川

(東泉寺)

開催日：6月1日、7月1日

**概要**：両日早朝、「朝勤（あさじ）」のお勤めに続き、「ひとつ灸」の略縁起が紹介される。「朝勤」で参詣する病難者全快の祈祷のあと、参詣者等は膝を出し、女性は右足、男性は左足のツボに小豆大の灸をすえてもらう。特に具合の悪い箇所には灸をしてももらう人も多い。

### 41-2 瑞龍寺のひとつやいと



開催場所：高岡市関本町

(瑞龍寺)

開催日：6月1日、7月1日

**概要**：春の農作業が一段落し、疲労が出て神経痛などの起こりやすいこの時期に「やいと」をする。膝ななめ下の膝眼と呼ばれる場所にもぐさを置いて灸を据える。足が軽くなると言う。約300年の伝統がある。

## 42 井波の八乙女山風神堂祭



**開催場所**：南砺市八乙女山（風神堂） **開催日**：6月1日後の日曜日

**概要**：春・秋に吹き荒れる“井波風”を鎮め、豊作を祈願するため行われる。風神を岩穴に封じ注連縄を張り祀ったところ風はやんだという。近年はこれに併せてイベントが行われている。

## 43 妙国寺の万代常閑報恩祭(常閑祭)



**開催場所**：富山市梅沢町3丁目（妙国寺） **開催日**：6月5日

**概要**：元和元年(1681)頃、岡山藩医の万代常閑（ばんだい じょうかん）が富山藩に招かれ反丹の処方方を教えた。その後、報恩講が県内及び県外の薬業関係者により継承されている。



## 44 虫送り

**開催場所：**県内各地

**概要：**稲作の病虫害駆除を目的にした行事。稲の病虫害は一般に“蝗（いなむし）”の害と考えられる。農薬の普及に伴い、多くが廃れてしまったが、地域の努力で復活されたところも見受けられる。



### 44-1 脇ヶ谷内地区の虫送り

**開催場所：**氷見市脇ヶ谷内 **開催日：**7月8日

**概要：**大祓えに合わせて執り行われる。一度途絶えていたが、復活した。タイマツや太鼓、笹竹を手に「ワーナンナン虫送るドンドン オラ一切虫送るドンドン」と声を上げ、地区内を練り歩き稲の病虫害を払う。最後は笹竹を集めて虫留めの儀式を行い燃やす。また、各水田には御幣をつけた笹竹をさす。



## 44-2 虫送り太鼓



**開催場所**：高岡市中田反保島  
(貞杉神社公民館前)

**開催日**：7月15日

**概要**：午後1時から一年の地区内の豊作を願い、病虫害防除の御祓いをし、大きな胴の太鼓を叩いて虫を払う。その後、白色の紙を青竹につけた御幣（お祓いを済ませたもの）を各家に配る。

## 45 有沢地内の時の記念日ドン打上げ



**開催場所**：富山市有沢地内  
(神通川富山大橋上流左岸)

**開催日**：6月10日

**概要**：毎年6月10日の時の記念日の正午に行う。江戸時代に富山藩が鑄造して鳴らしたとされる時鐘、明治33年からそれを受け継いで鳴らされた空砲、さらに昭和14年から戦後まで続いたサイレンなどの習慣を受けている。江戸時代の時鐘は富山町の三大名物（売薬・時鐘・船橋）のひとつに数えられ、全国的にも知られていた。現在その時鐘の一部は市内柳町の於保多神社境内に記念碑として残されている。



砺波市太田地区



砺波市石丸地区



砺波市十年明地区

**開催場所：**砺波地方 **開催日：**6月10日

**概要：**田植え（農繁期）の終わりを祝う行事。砺波地方中・北部では6月10日をヤスゴトといい、この夜、子供たちがヨータカという行灯に火を灯して歌を歌いながら村内の各個を巡回し、万年豊作を祈る。

## 47 雨乞い岩の雨乞い祈願



**開催場所**：富山市寺家（神通川右岸に臨む雨乞い岩とその下の洞窟）

**開催日**：6月第2土曜日

**概要**：帝龍寺の僧と寺家の住民が雨乞い岩洞窟へ降りて雨乞い祈願をする。洞窟の奥に不動明王が祀られており、供物を並べ、僧が太鼓を叩いてから読経や真言、願文を読み、終わってから直会をする。

## 48 阿弥陀堂祭り(あんだはんまつり)



**開催場所**：射水市本江（阿弥陀堂） **開催日**：6月15日

**概要**：1、6、8月の15日に法要が営まれるが、6月15日は村ぐるみで行われる。読経のあと阿弥陀堂の縁起が説明される。そのあと、2、3人が屋根に登り、餅（紅、白、青）をまく。これを食べると熱病にかからない、風邪をひかないと伝えられている。

## 49 金屋岩黒の岩黒不吹堂祭り



**開催場所**：砺波市庄川町金屋岩黒（寛文山（禿げ山）） **開催日**：6月18日

**概要**：岩黒の寛文山に不吹堂というお堂がある。風封じを祈る祭礼の日が近づくと世話役が勧進の村々を回りお供えの米を集める。千光寺の住職が祭祀を行う。

## 50 三日市のじんじん祭り



**開催場所**：黒部市三日市（八心大市比古神社境内）

**開催日**：6月25日

**概要**：かつてこの地方の各家で祀られていた屋敷神（じんじん様）を大正14年（1925）に八心大市比古神社の近くの大ケヤキ（市指定天然記念物）の根元に集めて祀ったことに由来する。当日は多くの出店で賑わう。

## 51 マンドウサマ(万堂様、ミズガミサマ)



滑川市杉本地区

**開催場所**：滑川市内（主に早月川流域の村） **開催日**：6月～11月

**概要**：早月川の水害を防ぎ、干害がないように祈り、村々で川原石の中でも特徴のある形の石などを御神体として祀ったもので、村によって祭礼の日は異なる。諸般の事情で村の神社へ移設されたものも多く、洪水の被害が少なくなった現在では、簡略化あるいは廃れてしまったところが多い。なお、「マンド」とは伊勢神宮の万度祓いのお札のことである。

## 52 夏越しの大祓え



茅の輪くぐり



形代（人形・櫛）

**開催場所：**県内各地 **開催日：**6月晦日（7月晦日）

**概要：**一年の半分に当たる6月晦日（7月晦日）に、体についた穢れを払い清めるために行われる。穢れを祓う茅の輪くぐりや自分の罪穢を移し、身代わりに海や川などに流す形代などが行われる。

## 53 川倉不動滝の滝開き



**開催場所：**富山市八尾町東川倉  
（川倉不動滝）

**開催日：**7月11日

**概要：**川倉不動寺にある「不動の滝」の滝開き。滝の前では滝祈願のお勤めが催され、諸事安泰・無病息災・安住を祈願して、町内外からも多くの信者の参拝がある。

## 54 富山県内の七夕行事



### 54-1 舟見地区の七夕

**開催場所：**入善町舟見

**開催日：**7月6～7日

**概要：**6日の飾りつけの前に七夕神社（現在は藤保内神社に合祀）で神事が行われる。また、舟見に関係がある歴史上の人物などが土人形で作られ飾られる。2、3間以上の竹に飾りを付けて各家の軒先に飾るが、個々の家の手作りによる七夕飾りがユニークである。



## 54-2 栗山地区の七夕



開催場所：滑川市栗山地区

開催日：8月7日

**概要**：各家の七夕に堤燈を下げ、  
笛、鉦で囃子ながら早月  
川原まで練り歩く。川原  
には1週間前から子供た  
ちが準備したコーヤがあ  
る。点火したコーヤに運  
んできた七夕を次々と投  
げ入れる。



## 54-3 蛇田地区の七夕



開催場所：魚津市蛇田地区

開催日：8月7日

**概要**：稲の豊作を願い、竹と藁  
で作ったタイマツで小川  
寺川に流した七夕飾りを  
燃やす。この間、笛と太  
鼓でタイマツを持ってく  
る子供たちを鼓舞する。  
ネットオクリと七夕行事が  
一体となった行事である。





## 54 - 4 浦田の稚児塚の祭り



**開催場所**：立山町浦田（稚児塚古墳）

**開催日**：8月6日

**概要**：前夜、村中から幾百束の藁を集め、夜更けまで塚の頂きの大杉の下に老若が集い寄り、火を焚く。  
七夕飾りは見られないが、開催日から七夕行事のひとつと考えられる。



## ちよっとコラム 富山県のニブ・七夕行事

七夕は、一般的には短冊に願い事を書いて笹竹に飾る行事として捉えられている。しかし、本来、水神を迎える祭礼で、収穫、収穫予祝、盆行事の始まりとして行われてきた。滑川市栗山地区の七夕行事や立山町浦田の稚児塚の祭りなど大火を燃すものは、オショウライに通じるものがあり、盆行事と結びついたものと考えられる。

一方、「ニブ」は「ネブ」とも言われ、睡魔のことである。同様の行事は、日本海側を中心とした東日本の各地にみられる。「とやまの祭り」百選で取り上げた滑川のネブタ流し(国・無形)や中陣地区のニブ流し(県・無形)は、眠気を払うと同時にケガレを水に流す禊ぎ(みそぎ)行事である。



## 55 二塚三口用水の水神祭(和合祭り)



**開催場所**：高岡市西二塚（惣社白山神社） **開催日**：7月13日

**概要**：庄川左岸三口用水の役員が参集して行われる。氾濫を鎮める祈願祭は、天正年間（1573～1591）にはすでに行われていたとされる。赤・青・白の旗が立てられ、用水の取水口で祝詞をあげた後、直会となる。

## 56 戸出大清水の馬頭観音祭



**開催場所**：高岡市戸出大清水（馬頭観音前） **開催日**：7月13日

**概要**：馬頭観世音と刻んだ石碑の前で馬が荷車を曳いて物資を輸送してくれたことに感謝して祭祀を行う。午前9時から馬の慰霊碑の前で読経される。

## 57 是安の風祭り(不吹堂の祭り)



**開催場所**：南砺市是安（級長戸辺神社） **開催日**：7月15日、12月5日

**概要**：級長戸辺神社は、延宝3年(1675)に砺波地方の180余りの村々の協力で建立された。夏は、雅楽の演奏のなか、宮司と砺波地方の5人の神官と神主装束の農家の代表が祝詞をあげ、その後、巫女舞、詩吟の朗唱や箏曲の奉納がある。冬は、地元の祭礼で、神事後、箏曲、献花の奉納、呈茶がある。

## 58 縄ヶ池の祭り



**開催場所**：南砺市蓑谷、縄ヶ池

**開催日**：7月15日

**概要**：縄ヶ池を灌漑用水の水源とする蓑谷・北野地区の代表者が出席し、蓑谷集落にある「縄池之碑」前で祭礼を行う。その後、太鼓・上敷・米・酒・赤飯・塩を持って縄ヶ池にある縄ヶ池姫社へ行き、祭典をして神饌を池に供える。

## 59 三国山ごんげん様の祭礼



**開催場所：**小矢部市嘉例谷、石川県津幡町 **開催日：**7月15日

**概要：**越中国砺波郡、加賀国河北郡、能登国羽咋郡にまたがる三国山山頂の「ごんげん様」の祭礼で、水の恵みに感謝し五穀豊穡を祈念して行われる。三集落の輪番制により祭礼が行われ、神職も交代で神事を行う。

## 60 脇方の小麦団子の祭り(小麦粉の祭り)



**開催場所：**氷見市脇方

(今蔵神社)

**開催日：**7月18日

**概要：**小麦などの雑穀の収穫を祝う収穫祭。昭和40年頃までは初穂として小麦団子が献饌され、家内一同でこれを食べたが、近年はみられない。しかし、氏子に漁の関係者が多いので季節の魚としてアカダイ、トンビ、キンメダイなどが献饌される。



## 61 地蔵盆(地蔵祭、地蔵尊祭)

**開催場所**：県内各地 **開催日**：主に7月下旬、8月下旬

**概要**：地蔵菩薩の縁日である7(8)月24日前日の宵縁日を中心とした3日の間で日を選んで行われる。地蔵盆は子供のための祭りとして行われるが、少子化等の影響で自治会や老人クラブ等により開催されているものが多い。行事の荘厳等は地域によって差が認められ、開催場所も地蔵堂で行われるもの、地区内の地蔵を公民館や寺等に集めて行うものなどがある。



**開催場所**：小矢部市中央町  
(大念寺)

**開催日**：8月24日

**概要**：境内の地蔵堂に約160体のお地蔵様が祀られており、子供たちが近隣の町内を回り供物等を集め、地蔵盆が開かれる。



**開催場所**：南砺市福野浦町  
(恩光寺前)

**開催日**：10月15日

**概要**：恩光寺の地蔵は、歯痛癒として割り箸で患部を撫でると痛みが止まるといわれ、明治中期まで盛んに行われた。



**開催場所：**砺波市庄川町青島地区（地藏堂前） **開催日：**8月17日

**概要：**権左島の六体地藏尊、一本橋の地藏で日照院の院主が読経を行う。子供たちが世話をし、供物を供える。



**開催場所：**氷見市上泉地区(公民館)

**開催日：**8月24日

**概要：**早朝から地区に散在する地藏様を運び、洗ってから公民館内に並べて荘厳する。夜に法要が行われ、翌朝、再び元の所に戻す。





**開催場所：**氷見市堀田地区（延暦寺） **開催日：**8月24～25日

**概要：**24日早朝に青年部が地区内の地藏様を集めて寺の本堂で荘厳し、夜に法要が行われる。近年は、翌朝に子供たちと青年部が地藏様の前で座禅をする。その後、子供と保護者が自分の地区の地藏様を元の場所に戻す。



**開催場所：**高岡市立野橋番町 **開催日：**9月2日

**概要：**旧北陸道に面した旧家に地区の地藏様が集められ、荘厳される。夕刻、西念寺の僧侶による法要が行われる。



男子用

**開催場所：**高岡市中田西町

**開催日：**8月23日

**概要：**中田地区では旧街道沿いの各町内で子供たちによる地藏盆が行われている。なかでも、西町は男子用と女子用の地藏様が別々に祀られている。



女子用



**開催場所：**射水市白石地区

**開催日：**7月24日

**概要：**「お蔵はん（オンゾハン）盆」とよばれる地藏盆は、新暦に行われる。前日夕方から大人と子供で地藏の身を清め輪袈裟を取り替えるなど準備し、当日は僧侶とともに参りする。





**開催場所**：富山市丸の内1・2・3丁目 **開催日**：8月24日

**概要**：地元の世話役が中心となって行われる。日中は、荘厳した地藏堂の前で御詠歌を詠んだり雑談したりしながら過ごし、夕刻、僧侶による読経が行われる。



**開催場所**：富山市神通町3丁目 **開催日**：8月24日

**概要**：地元の世話役が中心となって行われる。日中は、荘厳した地藏堂で雑談などして過ごし、夕刻、僧侶による読経が行われる。

## 62 御影様



黒部市宇奈月町下立



入善町芦崎

**開催場所**：新川地域(個人宅、公民館、寺)

**開催日**：6月～7月

**概要**：天明8年(1788)の大火で類焼した東本願寺の再建が終了し、享和元年(1801)に再建に越中の門末が尽力したことへの褒賞として「ゴエーサマ」(乗如上人御影)が下付されたことを機に県



入善町芦崎

内を巡回するようになった。特に黒部川扇状地が盛大で、各集落の当番宿を順繰りに回す形式で、御影を掛けて御消息を披露し、法要を開く。黒部川越えは難所だったため、黒部市宇奈月町下立や入善町芦崎では出店などで賑わう。



## 63 ネットクリ(熱送り)



福光宇佐八幡宮「太鼓の打ち始め」



南砺市竹内地区の虫送り太鼓



南砺市遊部地区

**開催場所：**南砺市各地 **開催日：**7月20日前後の日曜日（土用の三番）

**概要：**稲の生育に大きな被害をもたらすいもち病や害虫がもっとも発生しやすい出穂期に、稲を守るために行われる。子供たちが「オクルワイ オクルワイ、ネットクリワイ」と太鼓の音に合わせて唄い囃しながら、五色の短冊で飾った笹竹で稲田を払う。太鼓を打ち鳴らすだけの地区も多い。

## 64 善徳寺虫干法会



**開催場所**：南砺市城端（善徳寺）

**開催日**：7月22～28日

**概要**：善徳寺の夏の法要で、寺に伝わる法宝物や加賀藩前田家伝来の宝物を、虫干しを兼ねて御殿・各座敷に展示し、開帳や説明が行われる。本堂では勤行・法話・蓮如上人の絵伝の絵解きなどが行われる。

## 65 瑞泉寺太子伝会



**開催場所**：南砺市井波（瑞泉寺）

**開催日**：7月21～29日

**概要**：本堂横の太子堂で、聖徳太子の一生を描いた八幅の絵伝を解説し、遺徳を偲ぶ絵解きや、聖徳太子二歳像の開扉など、年に一度の行事が行われる。

## 66 猿倉社の二十五菩薩の祈禱



**開催場所**：富山市猿倉山山頂（猿倉社） **開催日**：7月25日前後の土日

**概要**：猿倉山麓は霧が深く、苗の生育に影響があった。そこで、現在の飛騨市神岡町和佐保の霧の害がなくなったという伝説に習い、二十五菩薩を祀り、帝龍寺の僧侶による霧の害を払う祈禱が行われている。

## 67 本江の転地講



**開催場所**：滑川市本江

**開催日**：7月27日

**概要**：天保6年（1835）に郷川が氾濫して耕地が荒廃し、村内48戸が集団で転居した。功労のあった十村役宝田宗兵衛の恩に感謝し、天保13年から開かれている。村の高台に小祠を特別に建立し、「コミヤサン」と呼ばれ親しまれている。戦後は全戸持ちまわりで講宿を営む。

## 68 木町神社の御書祭



**開催場所**：高岡市木町（木町神社） **開催日**：7月末～8月初旬の日曜日

**概要**：木町神社の拝殿に前田利長から拝領の「御親書」等3点を見台に飾り神事を行う。この祭りは「木町の難波に加賀藩が八百石の御貸米をくださったのは利長のおかげ」であると感謝し、直筆の書を飾り報恩したことに始まる。

## 69 町長の住吉権現祭礼



**開催場所**：富山市町長（住吉社殿前） **開催日**：8月1日午後

**概要**：当日の午後に村民が集合する。キリーク（阿弥陀如来）の梵字木札と勢至菩薩が御神体である。龍高寺の僧侶が読経し、村民が焼香する。

## 70 町長・布尻の行者様祭り



**開催場所**：富山市町長、布尻（行者塚の前） **開催日**：8月1日午後

**概要**：布尻と町長の境に「梵字ユ 南無遍照金剛寛明」と刻んだ石碑がある。明治10年に寛明という行者がこの地域を布教して歩き、その徳を偲び、塚祭りをする。

## 71 東薬寺の滝又薬師法会



**開催場所**：富山市牧野（東薬寺） **開催日**：8月8日

**概要**：東薬寺の伝説の地、榎ヶ原集落の奥地の滝又で行われる。宝暦年間(1751～1763)、天正年間に荒廃した寺を復興するにあたり、仙人弥平太が東方に見つけた一筋の光明をたどり、岩屋に薬師如来を見つけて寺に連れて帰ったことに始まる。毎年その岩屋に参拝する。

## 72 コンゴウ(魂向会)



開催場所：氷見市内（各宗寺院）

開催日：8月上旬



### 概要：(浄土真宗西念寺)

8月4～6日の3日間にわたり営まれる。本堂で、午前の法話が終わると、参詣者には庫裏で「お斎の膳」が振る舞われる。午後、法要と客僧による法話が二席行われる。なお、参詣者は4日が石川県鹿島郡の信者と氷見や高岡に嫁いだ「孫門徒」の女衆等、5・6日は在所の森寺と吉滝村の人たちである。

### 概要：(曹洞宗長坂光西寺)

8月1日の昼前、参詣した人たちは記帳を済ませると、飯台場で「斎の膳」が供される。その後、本堂で客僧による法話が一席行われる。法話に続き、住職を尊師に客僧等とともに法要が勤められる。終わりに参詣者等が焼香する。



## 73 本法寺の曼荼羅絵図風入れ法要



開催場所：富山市八尾町宮腰（本法寺）

開催日：8月初旬

**概要**：国指定重要文化財の曼荼羅絵図の虫干しを兼ねて法要が行われる。法要、説教の後、絵解きなどが行われる。厨子に入れた曼荼羅絵図を本堂に移す際や本堂から収蔵庫に戻す際に壇信徒がお題目を唱えながらその下をくぐり、無病息災を祈る。



みやながしょううん

## 74 宮永正運墓前祭



開催場所：小矢部市下川崎  
（宮永正運墓前）

開催日：8月15日

**概要**：江戸時代の農学者・俳人で、数々の農業関係の著書や紀行文を記した宮永正運の墓に下川崎、興法寺集落の人々約80人余りが集まり、蓮乗寺住職の読経により焼香し、お参りする。



## 75 オショウライ(御精来・御精霊)

**開催場所**：富山市、射水市、滑川市、上市町 **開催日**：8月13日

**概要**：精霊様（しょうらいさま）つまり先祖の霊を呼び寄せる意味の火祭り。ショウライの迎え火で招かれた先祖の魂は、盆の三日間家族とともに過ごすと言われる。県内では県中央部を中心に行われている。川原に大きなやぐらを組み火をつけるもの、手持ちのタイマツ（ショウライ）をゆっくりと回し先祖霊を呼ぶものなど形態にはバラエティが見られる。



### 75-1 上市のショウライコ

**開催場所**：上市町（上市川沿い） **開催日**：8月13日

**概要**：宵盆に上市川の川原で各町内が競ってお精霊の迎え火を焚く。日没後、人々がおがくずを詰めた麻殻の松明（これもショーライという）を持ち、堤防に集まり火をつけて大きく回しながら「ショーライコ、ショーライコ、ジージも来い、バーバも来い」等と呼び先祖の霊を迎える。頃合をみて川原のヤグラに火がつけられ、巨大な精霊火が上市川の川原のあちこちに出現する。

## 75-2 大崎野のオシヨウライ



**開催場所：**滑川市大崎野（大崎野公民館前）

**開催日：**8月13日

**概要：**青年部が世話役となり行われている。藁束を竹で担ぎ村内を走り去るという珍しい形態で、滑川市内でもここだけである。



## 75-3 本江のオシヨウライ



**開催場所：**滑川市本江

**開催日：**8月13日

**概要：**まず、川原に立てたオシヨウライ小屋に火がつけられる。後に人々が川縁で藁束に火を灯しぐるぐる回す。



## 75-4 芦峠寺のオショウライ



**開催場所**：立山町芦峠寺（各家）

**開催日**：8月13日

**概要**：麻殻の松明（現在は堤燈）を持って墓まで先祖霊を迎えに行き、ローソクを灯して精霊を家に迎える。

## 76 光久寺の御開帳(太子伝会)



**開催場所**：氷見市飯久保（真宗大谷派光久寺）

**開催日**：8月15～16日

**概要**：光久寺住職が法要を営み、寺宝の各縁起が奉読される。「聖徳太子略絵伝」「正法輪蔵」のほか聖徳太子ゆかりの寺宝が開帳され、略絵伝の絵解きがされる。また、親鸞聖人ゆかりの寺宝も公開される。

## 77 千保川水天宮祭り(千保川灯籠流し)



**開催場所**：高岡市中島町（有磯正八幡宮、千保川） **開催日**：8月16日

**概要**：有磯正八幡宮から祭神を迎え、夕方大小数千個の灯籠が流される。古くから洪水に悩まされたため、水の神様の祭りとして流された人々の供養のため大正3年から灯籠流しを行っている。

## 78 高岡山町筋の夏祭り



### 78-1 木舟町の大國祭

**開催場所**：高岡市末広町（高岡関野神社脇の大國社）

**開催日**：8月10日

**概要**：木舟町の御車山の本座大國主命にちなみ行われる。早朝、大國社（もとは木舟町にあった）で、各家庭や自治会・青年団等の団体から参加のもと祭礼を行う。

### 78-2 小馬出町の市姫祭

**開催場所**：高岡市末広町（高岡関野神社） **開催日**：8月9日

**概要**：少子化の影響等で平成19年から高岡関野神社の祓いのみとなったが、もとは9日夕刻に町民全員が提灯を持って高岡関野神社から商売の神・市姫様を迎え、町内の祭宿で祀った。

### 78 - 3 守山町の西の宮祭



**開催場所**：高岡市守山町（高岡関野神社、守山町の祭宿）

**開催日**：8月9～10日

**概要**：町内の御車山に神座する恵比寿様を祀り行われる。9日夜に子供たちに担がれて高岡関野神社から迎えられた御神体は、町内の宿に祭壇を設けて祀られる。翌日にはまた高岡関野神社へ送られる。

## 78 - 4 通町の布袋祭



**開催場所**：高岡市通町（高岡関野神社、通町の祭宿） **開催日**：8月19～20日

**概要**：町の守り神として町内の御車山に神座する布袋様を祀る。19日夜に高岡関野神社へ紋入りの提燈を持ち迎えに行き、子供たちに担がれて町内を巡行する。その後、祭宿で祭礼が行われる。20日の夜、布袋様を高岡関野神社へ送る。

## 78 - 5 一番町、三番町、源平町の住吉祭

**開催場所**：高岡市一番町、三番町、源平町（高岡関野神社） **開催日**：8月19～20日

**概要**：一番町通りの守り神として住吉様を祀る。以前は、町内に祭宿を設けて高岡関野神社から御神体を迎えたが、現在は神社で玉串奉典などを行っている。

## 79 平諏訪社の諏訪祭り(スワドの祭り、風祭り)



**開催場所**：氷見市平（高坂剣主神社境内諏訪社）

**開催日**：日程不定（もとは8月27日）

**概要**：秋の収穫期を目前にして風害、水害などの災難を鎮め、五穀豊穡と収穫の無事、村内安全を祈願する。以前はこの祭礼に併せて、神前に供えられる「カマ」と呼ぶ一対の鉄製魚形を祭礼の終わりに境内の栗樹に打ち込んだ。

## 80 西念寺の御開帳(太子伝会)



**開催場所**：高岡市立野（浄土真宗大谷派西念寺） **開催日**：8月22～24日

**概要**：太子十六才像の開帳とともに、絵伝の絵解きが行われる。かつては、井波瑞泉寺の太子伝会に参詣できなかった門徒がここに参りにきたという。



## 81 鉄砲町・白銀後町の天神祭



**開催場所**：高岡市鉄砲町・白銀後町（谷内天満宮） **開催日**：8月24～25日

**概要**：24日の宵祭りは天神堂前の祭壇に、生きた鯉を柿・酒・野菜など他の供物とともに供え、神事を行う。25日は、夕刻に天神様を唐櫃に入れ町内を一巡したのち天神堂へ戻り神事を行う。神事後、鯉の放生が行われる。

## 82 沖布諏訪社のタヤの宮の祭り



**開催場所**：氷見市鞍川沖布（諏訪宮）

**開催日**：8月25日（本来は10/18）

**概要**：諏訪社は、県内では氷見地方に最も多く、森を神体としている。沖布諏訪社は、旅（たや）一族の同族神でタヤの宮と呼ばれる。祭日には一族が宗家に集まり祭りをし、翌日、宮の森へ注連縄を張りに行く。

## 83 宇波神社のしとぎ献供



**開催場所：**氷見市宇波（宇波神社） **開催日：**4月15日、9月16日

**概要：**春・秋の祭りの際、昼過ぎから神社に隣接する旧家で米の粉を使ったしとぎが作られる。ドロドロの状態のしとぎを笹の葉に波を描くように垂らして固める。宇波神社に供え神事が行われる。神事後、参加者が口にする。

## 84 戸出大清水の水神祭



**開催場所**：高岡市戸出大清水（庄川左岸の石碑前） **開催日**：9月1日

**概要**：この碑は、明治28・29年の大洪水で被害を蒙った大清水の人々が、庄川左岸中田大橋詰めに「水神」の碑を建てたもので、庄川の氾濫の鎮めを祈念して水神碑の前で祭りをする。

## 85 放生津八幡宮の放生式



**開催場所**：射水市八幡町（放生津八幡宮） **開催日**：10月2日

**概要**：天平18年（746）に豊前国宇佐八幡神を勧請して、奈呉八幡宮とした頃から行われ、放生津の地名の由来となったとされる行事。神社拝殿内で行われている秋季例大祭に引き続き行われ、生類供養のためヒブナの成魚2匹と文鳥1羽を放つ。

## 86 城端愛宕社の祭礼



開催場所：南砺市城端（愛宕社） 開催日：10月5日

概要：もともとは子供の成長を祈る祭りとして行われていた。夜6時頃から神主のおまいりがあり、玉串を奉納した後、供物を分け合い持ちかえる。

## 87 瑞泉寺の報恩講



開催場所：南砺市井波（瑞泉寺） 開催日：10月1～3日

概要：報恩講は親鸞の忌日（11月28日）に合わせて営まれる浄土真宗の年中行事の中で最も重要な法要である。在家の家々や末寺でも晩秋の頃に報恩講が行われるが、当寺の報恩講は、城端善徳寺の報恩講と並び大規模で、多くの人たちが参詣する。

## 88 上梨のセック



開催場所：南砺市上梨（白山宮） 開催日：10月8～9日

概要：集落の6つの組が交代で当番する。一晩水につけておいたうるち米を粉にし、捏ねてしとぎ餅を作る。2個ずつ笹の葉にのせ、その夜に白山宮に供え、翌朝早く各戸に配る。

## 89 十三寺の御開帳



**開催場所**：入善町舟見（中尾山十三寺）

**開催日**：10月13日

**概要**：本尊の馬頭観世音菩薩立像など県指定文化財の仏像3体は、平安末期の作で、舟見城主飛騨守五郎左近尉の守本尊だったとされる。7年ごとの秘仏の開扉は、多くの人々で賑わう。また、米吊りも奉納される。

## 90 和田神明社の御印祭(佐助祭)



**開催場所**：高岡市和田（和田神明社）

**開催日**：10月15日

**概要**：和田の町立てに功績のあった肝煎の佐助をしのんで行われる。町立が許された10月15日（もとは9月15日）に各家の軒先の行燈を掲げ、「いもがいもち」（佐助の好物）を作って食べた。近年は「いもがいもち」に替わり「おはぎ」が作られる。



## 91 伊勢玉神社の柿天神(天神祭り)



**開催場所**：氷見市伊勢大町（伊勢玉神社と氏子区域） **開催日**：10月25日

**概要**：特殊な神饌（しんせん）として、脱渋した柿（サワシ柿、合わせ柿）を盛った三方が神前に供えられることから「柿天神」と呼ばれる。神社の氏子の上伊勢町・中伊勢町・下伊勢町・高砂町の各町神社総代が参列して行われる。柿は、直会の後参加者に配られる。

## 92 慈光院の火渡り



**開催場所**：小矢部市西町（慈光院）

**開催日**：10月27日

**概要**：境内の護摩壇前の長さ3m、幅1.5mに敷き詰めた燃える木炭の上を、読経する僧侶、信者らが渡る。昭和10年頃から毎年行われている。

## 93 岩稲八幡社の神送り・神迎え



神送り



神迎え

**開催場所**：富山市岩稲（八幡社） **開催日**：10月下旬の日曜日・11月下旬の日曜日  
**概要**：10月下旬に、神様を出雲へお送りし、翌月にお迎えする。八幡宮境内に杉の枝を下ろして火を焚く（神様は煙に乗って行き来されるという）。子供たちは神社の階段にろうそくを灯し、神様の通るとされる道を照らす。

## 94 善徳寺の報恩講



**開催場所**：南砺市城端（善徳寺）

**開催日**：11月中

**概要**：11月13日の午後、「改悔批判」の法話があり、夜に「ゴデンシヨウ」という親鸞の伝記が読まれ、通夜説教と問答が交わされる。お七昼夜（オシチャサマ・お正当）は、11月26日～28日に行われる。



## 95 下立のおおべっさま迎え



**開催場所**：黒部市宇奈月町下立（個人宅） **開催日**：11月20日、1月20日

**概要**：11月20日、恵比寿様の帰郷を玄関を開けて家の中へお迎えし、風呂に入ってもらったあと御膳を供し、礼の口上を述べる。1月20日は、恵比寿様をお送りする。この行事は、黒部川扇状地の各地で行われる。



## 96 下村加茂神社の煤払祭



**開催場所**：射水市加茂中部  
（下村加茂神社）

**開催日**：12月25日

**概要**：氏子等が社殿を清掃し、その後、ズイキ（サトイモの茎を干したものと黒豆を入れ味噌で味付けをした固粥（少しやわらかめにたいたご飯）が特殊な神饌として供えられる。神事後、神職と氏子で御神酒と固粥を食す。



## 97 歳の大市



**開催場所**：南砺市福野  
（上町交差点）

**開催日**：12月27日

**概要**：慶安3年(1650)の福野の町立て以来、町の中心部で毎月6回の市が開かれるようになった。歳の大市は、1年最後の市として早朝から大勢の買い物客で賑わう。

## 98 年越しの大祓え



人形と櫛による祓え

茅の輪くぐり



**開催場所**：各地神社 **開催日**：12月下旬～晦日

**概要**：1年間に体についた穢れを払い清めるために行われる。人形に名前年齢などを書くもの、櫛で体をなで息を吹きかけるもの、茅の輪くぐりが行われているものなどがある。



## 99 小境の大晦日の宮籠もり



**開催場所**：氷見市小境（朝日神社・夕日神社） **開催日**：12月31日～1月1日

**概要**：大晦日の夕方に子供たちが二手に分かれてそれぞれの宮に籠もり一夜を明かす。新年を迎え、地区の人々が初詣にやってくると、子供たちは神様に代わって挨拶し、御神酒を出す。元旦の朝、お供えの餅を切り分け集落に分ける。もともと子供だけの行事だが、少子化の影響で地元の子供は5人のみ（平成19年現在）となっている。

# 100 庚申講



**開催日**：60日に一度の庚申の日

**概要**：60日に一度の庚申の晩に、人間の体内にいる三尸虫（さんしのむし）が寝ている間に天帝へその人の悪事を報告しに行くと言われた。そのため、報告しに行くのを避けるため、夜通し見張りを行うという行事。また、庚申の神は田圃の神様とも言われ、農作業、田圃の話など一晩中語り明かした。

## 100-1 入善町新屋地区の庚申講



**開催場所**：入善町新屋（各家）

**概要**：禅宗等の信徒が集まって講を行う。本来は夜を通して行われていたが、現在は日中に行われる。昔は男の戸主の出席を原則としていたが、昨今は女性でも参加する。勤行の後、お茶やお酒を飲みながら歓談する。

## 100-2 東猪谷地区の庚申講



**開催場所**：富山市東猪谷

（不動様のお堂）

**概要**：年輩の女性たちの一部で信仰されている。庚申の軸を掛け、御詠歌を唱し世間話をして過ごす。本来は夜通し行ったが、現在は日中に行われる。庚申を拝むと儲かり災難を免れるという。

### 100-3 加茂中部地区の庚申講

**開催場所**：射水市加茂中部

(神馬堂)

**開催日**：春分の日の前日

**概要**：旧北陸道のかたわら

に青面金剛を祀る。

この日、青面金剛を

安置した神馬堂に祭壇

を設け、そばで子

供たちが太鼓を叩き、

祭りを触れる。子供

たちは、参拝に来た

大人へ供物のお下がりを渡す。夕刻から神職が地域住民の長寿・無病息災・

鎮火を祈禱する神事を行う。子供たちは夜9時頃までお堂のお世話をする。



## 101 一宿の観音講



**開催場所**：入善町一宿（各家） **開催日**：不定期

**概要**：禅宗の檀家で講を回す。昔は10日に行っていたが、昨今は家によってまちまちである。入善町野中の真言宗の檀家から観音様が寄付され、おおむね100年以上前から行われている。

## 二十四節気と五節句、雑節

### 二十四節気

節分を基準に1年を24等分して約15日ごとに分けた季節のこと。半月ごとの季節変化に対応出来ることなどから、農業の目安としては非常に便利なため古くから利用された。

| 月 日   | 節 気 | 内 容   |
|-------|-----|---|
| 1月6日  | 小 寒 | この日から寒に入り、寒さも本格的になる。小寒から節分までを寒の内という。                    |
| 1月21日 | 大 寒 | 一年の内で最も寒い時期。  |
| 2月4日  | 立 春 | 二十四節気の最初の節にあたり、八十八夜、二百十日など、すべて立春の日から数える。暦の上ではこの日から春になる。 |
| 2月19日 | 雨 水 | 雪が雨に変わり、雪や氷は溶けて水となるとされる。                                |
| 3月5日  | 啓 蟄 | 地中で冬眠をしていた虫たちが姿を現わす頃とされている。                             |
| 3月20日 | 春 分 | 昼と夜との時間は等しくなる。この日を中日として前後それぞれ3日、すなわち7日間が春の彼岸である。        |
| 4月4日  | 清 明 | 花が咲き乱れる季節とされる。  |
| 4月20日 | 穀 雨 | このころに降る雨は百穀を潤すとされる。春の最後の節気である。                          |
| 5月5日  | 立 夏 | 暦の上ではこの日から立秋までが夏となる。                                    |
| 5月21日 | 小 満 | 陽気の良い頃で万物が成長し、一定の大きさになる頃とされる。                           |
| 6月5日  | 芒 種 | 芒種というのは稲や麦など穂の出る穀物の種のことをいい、種播きの時期とされる。                  |
| 6月21日 | 夏 至 | 昼間の時間が1年で一番長い日である。                                      |
| 7月7日  | 小 暑 | 昼間の時間は徐々に短くなるが、日増しに暑くなる頃である。                            |
| 7月22日 | 大 暑 | もっとも暑くなる頃とされ、土用の丑の日にウナギを食べる風習が生まれた。                     |
| 8月7日  | 立 秋 | 実際には最も暑い時期だが、この日から秋となる。                                 |
| 8月23日 | 処 暑 | 暑さが収まる頃という意味で、初秋のころ。                                    |
| 9月7日  | 白 露 | いよいよ秋の気配がただよう、草に露がつくようになる頃とされる。                         |
| 9月23日 | 秋 分 | 昼と夜の長さが同じとなるが、この日以降に夜の方が長くなる。                           |

|        |     |   |
|--------|-----|---|
| 10月8日  | 寒 露 | 本格的な秋が始まる頃とされる。この頃になると露が冷たく感じられることからいう。 |
| 10月23日 | 霜 降 | 寒露に続き寒さが一段と増し、霜が降りる頃とされる。               |
| 11月7日  | 立 冬 | この日から立春までが暦の上で冬とされる。                    |
| 11月22日 | 小 雪 | この頃から雪が積もりはじめ、冬の到来が感じられる頃とされる。          |
| 12月7日  | 大 雪 | 本格的な雪が降り出す頃とされる。                        |
| 12月21日 | 冬 至 | 暦の上では冬の最中とされるが、この日を境に昼間の時間は長くなっていく。     |

(平成20年：日は年によって多少替わる)

### 五節句

節は、季節の変わり目のことで、季節の句の植物から生命力をもらい邪気を祓うという目的で行事が行われる。五節句には、3月3日、5月5日のように奇数の重なる日選ばれているが、1月だけは1日（元旦）を別格とする。

| 節 気             | 内 容   |
|-----------------|---|
| 人日の節句<br>(1月7日) | 正月7日の朝は、セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロの7種類の草を入れた七草粥を食べる。                         |
| 上巳の節句<br>(3月3日) | 桃の節句。農家では、本格的な農作業の始まる季節である。   |
| 端午の節句<br>(5月5日) | 5月の最初の午の日にあたり、菖蒲の節句とも言われ、菖蒲を軒に吊し、菖蒲湯に入って無病息災を願った。また、「しょうぶ」の言葉にかけて、男子の成長を祝う節句でもある。 |
| 七夕の節句<br>(7月7日) | 中国に古くから伝わる牽牛・織女星の伝説と日本古来の棚機津女（たなばたなつめ）信仰が合わさり七夕行事となった。                            |
| 重陽の節句<br>(9月9日) | 菊の節句。長寿を願う祓いの行事が行われ、長寿薬とされていた菊の花びらを浮かべた菊酒を飲んだ。                                    |

(平成20年：日は年によって多少替わる)

### 雑節

農業に従事する人々は二十四節気では十分に季節の変化を読み取れないため、その補助をする為に考えられた日本独自の暦である。五節句・二十四節気以外の、季節の移り変わりの目安となる日の総称をいい、節分、春・秋の彼岸の入、春・秋の彼岸の明、八十八夜、入梅、半夏生、土用の入、二百十日がある。

# 『とやまの年中行事』百選カレンダー

春

冬

| 節候 | 日付         | 行事                 |
|----|------------|--------------------|
| 雨水 | 22         | 福光火伏神社の火伏祭(南砺)     |
| 立春 | 24         | 愛宕神社の火祭り(富山)       |
|    | 第3日曜       | 開の券(検)地報恩講(滑川)     |
|    | 中旬あるいは3月中旬 | 涅槃会(各地)            |
|    | 28         | つごもり大市(南砺)         |
|    | 15         | 福光の検地祭(南砺)         |
|    | 10         | キシユウ(起舟)(永見)       |
|    | 9          | 山祭り(朝日・入善・黒部)      |
|    | 8          | 町長のお日待ち(富山)        |
|    | 7          | 布尻のお日待ち(富山)        |
|    | 3          | 節分会(各地)            |
| 大寒 | 26         | 愛宕神社の火祭り(魚津)       |
|    | 20         | 東猪谷の数珠くり(富山)       |
|    | 19         | 今生津のお日待ち(富山)       |
|    | 15         | 婦中町速星地区の成木責め(富山)   |
|    | 14         | 勝興寺御満座法要(高岡)       |
|    | 14前後       | 左義長(各地)            |
|    | 正月・春・夏・秋・冬 | 吉見地区の一味同心を誓う祭り(南砺) |
|    | 第4土・日曜     | 楡原のお日待ち(富山)        |
|    | 11         | 岩稻のお歟様(富山)         |
|    | 10         | 宮崎のエビス講(朝日)        |
|    | 8          | 滑川の神農祭(滑川)         |
| 小寒 | 7          | 鯉の厄払い放流(砺波)        |
|    | 1          | 芦峯寺のミヤマイリ(立山)      |
| 元旦 | 1          | 下村加茂神社の鯛分け神事(射水)   |



## 春

啓蟄

春分

清明

穀雨

立夏

小満

芒種

夏至

三月

9

芦峠寺の山の神の祭り(立山)

13

芦峠寺のおんば様のお召し替え(立山)

四月

20

芦峠寺のズズクリ(立山)

3

下梨の節句行事(南砺)

3

与四兵衛祭(高岡)

中頃

大法寺の二天会・正甫公法祭(富山)

15

東猪谷・伏木・舟渡・小糸・吉野・寺津・町長の湯釜(富山)

15

宇波神社のしとぎ献供(氷見)

18

長慶寺の五百羅漢祭り(富山)

24

西大森の水神様の祭り(立山)

五月

15頃

龍石神社の雨乞い祭り(魚津)

20

えびす講(氷見)

25

於保多神社の鸞替え(富山)

25前後の日曜

利屋町の天神祭り(高岡)

29

諏訪神社の亀替え(富山)

六月

1

ひとつやいと(氷見・高岡)

1直後の日曜

井波の八乙女山風神堂祭典(南砺)

5

妙国寺の万代常閑報恩祭(富山)

6

牛嶽大明神例大祭(富山・砺波)

10

有沢地内の時の記念日トンの打上げ(富山)

10

ヨータカ(砺波)

第2土曜

雨乞い岩の雨乞い祈願(富山)

15

阿弥陀堂祭り(射水)

18

金屋岩集落の岩黒不吹堂祭り(砺波)

25

三日市のじんじん祭り(黒部)

30

夏越しの大祓え(各地)

## 夏

小暑

大暑

立秋

処暑

七月

- 6月～7月 虫送り(各地)
- 6月～7月 御影様(朝日、入善、黒部)
- 6月～11月 マンドウサマ(滑川)
- 1 ひとつやいと(氷見、高岡)
- 7 富山県内の七夕行事(各地)
- 10 えびす講(氷見市)
- 11 川倉不動滝の滝開き(富山)
- 13 二塚三口水の水神祭(高岡)
- 13 戸出大清水の馬頭観音祭(高岡)
- 15 是安の風祭り(南砺)
- 15 縄ヶ池の祭り(南砺)
- 15 三国山ごんげん様の祭礼(小矢部、石川県津幡)
- 18 協方の小麦団子の祭り(氷見)
- 20前後の日曜 ネットオクリ(南砺)
- 21～29 瑞泉寺太子伝会(南砺)
- 22～28 善徳寺虫干法会(南砺)
- 25前後の土日曜 猿倉社の二十五菩薩の祈祷(富山)
- 27 本江の転地講(滑川)
- 下旬 地藏盆(各地)
- 末～8月初旬の日曜 木町神社の御書祭(高岡)

八月

- 31 夏越しの大祓え(各地)
- 1 町長の住吉権現祭礼(富山)
- 1 町長・布尻の行者様祭り(富山)
- 初旬 本法寺の曼荼羅絵図風入れ法要(富山)
- 上旬 コンゴウ(氷見)
- 7 富山県内の七夕行事(各地)
- 8 東薬師の滝又薬師法会(富山)
- 13 オシヨウライ(各地)
- 15 宮永正運墓前祭(小矢部)
- 15・16 光久寺の御開帳(氷見)
- 16 千保川水天宮祭(高岡)
- 8月中 高岡山町筋の夏祭り(高岡)
- 22～24 西念寺の太子像御開帳(高岡)

## 秋

白露

秋分

寒露

霜降

立冬

小雪

大雪

冬至

九月

十月

十一月

十二月

24 ~ 25

25

27

下旬

1

16

1 ~ 3

2

5

8 ~ 9

13

15

16

17

23

25

下旬の日曜

10 ~ 15

20

20

下旬の日曜

5

25

27

下旬から31

31

鉄砲町・白銀後町の天神祭(高岡)

沖布諏訪社のタヤの宮の祭り(水見)

平諏訪社の諏訪祭り(水見)

地藏盆(各地)

戸出大清水の水神祭(高岡)

宇波神社のしとぎ献供(水見)

瑞泉寺の報恩講(南砺)

放生津八幡宮の放生式(射水)

城端愛宕社の祭礼(南砺)

上梨のセツク(南砺)

十三寺の御開帳(入道)

和田神明社の御印祭(高岡)

東猪谷・伏木・舟渡・小糸・吉野・寺津・町長の湯釜(富山)

慈光院の火渡り(小矢部)

長慶寺の五百羅漢祭り(富山)

伊勢玉神社の柿天神(水見)

岩楯八幡社の神送り(富山)

善徳寺の報恩講(南砺)

下立のおおべっさま迎え(黒部)

えびす講(水見)

岩楯八幡社の神迎え(富山)

是安の風祭り(南砺)

下村加茂神社の煤払祭(射水)

大歳(大)の市(南砺)

年越しの大祓え(各地)

小境の大晦日の宮籠もり(水見)

## 冬

## 「とやまの年中行事」百選一覧

| No. | 市町村               | 祭り名(別名)              | 行事日            | 掲載頁   |
|-----|-------------------|----------------------|----------------|-------|
| 1   | 射水市               | 下村加茂神社の鯛分け神事         | 1月1日           | 6     |
| 2   | 立山町               | 芦峯寺のミヤマイリ(歳旦祭)       | 1月1日           | 6     |
| 3   | 富山市               | 今生津のお日待ち             | 1月19日          | 7     |
| 4   | 砺波市               | 鯉の厄払い放流(金屋神明宮厄払い祈願祭) | 1月7日           | 7     |
| 5   | 滑川市               | 滑川の神農祭               | 1月8日           | 8     |
| 6   | 朝日町               | 宮崎のエビス講              | 1月10日晩         | 8     |
| 7   | 富山市               | 岩稲のお鞆様               | 1月11日朝         | 9     |
| 8   | 富山市               | 楡原のお日待ち              | 1月第4土・日曜       | 9     |
| 9   | 南砺市               | 吉見の一味同心を誓う祭り         | 正月・春・夏・秋・冬の年5回 | 10    |
| 10  | 県内各地              | 左義長                  | 1月14日前後        | 11~15 |
| 11  | 射水市               | 下村加茂神社の鳥追い           | 1月15日          | 16    |
| 12  | 高岡市               | 勝興寺御満座法要             | 1月14~16日       | 16    |
| 13  | 富山市               | 速星の成木責め              | 1月15日          | 17    |
| 14  | 富山市               | 東猪谷の数珠くり             | 1月25日前後の土日     | 18    |
| 15  | 魚津市               | 愛宕神社(魚津神社)の火祭り       | 1月26日          | 19    |
| 16  | 県内各地              | 節分会                  | 2月3日           | 20    |
| 17  | 富山市               | 布尻・町長のお日待ち           | 布尻2月7日、町長2月8日  | 20    |
| 18  | 朝日町<br>入善町<br>黒部市 | 山祭り                  | 2月9日           | 21・22 |
| 19  | 氷見市               | キシユウ(起舟)             | 2月10日          | 23    |
| 20  | 南砺市               | 福光の検地祭               | 2月15日          | 23    |
| 21  | 滑川市               | 開の券(検)地報恩講           | 2月17日          | 24    |
| 22  | 県内各地              | 涅槃会                  | 2月中旬あるいは3月中旬   | 24    |
| 23  | 南砺市               | つごもり大市               | 2月28日          | 25    |
| 24  | 南砺市               | 福光火伏神社の火伏祭           | 2月22日          | 25    |
| 25  | 富山市               | 愛宕神社の火祭り(あたごさんの火祭り)  | 2月24日          | 26    |
| 26  | 立山町               | 芦峯寺の山の神の祭り           | 3月9日           | 27    |
| 27  | 立山町               | 芦峯寺のズズクリ(数珠くり)       | 3月20日          | 27    |
| 28  | 立山町               | 芦峯寺のおんば様のお召し替え       | 3月13日          | 28    |
| 29  | 南砺市               | 下梨の節句行事              | 4月3日早朝         | 29    |
| 30  | 高岡市               | 与四兵衛祭                | 4月3日           | 29    |
| 31  | 富山市               | 大法寺の二天会・正甫公法祭        | 4月中頃           | 30    |
| 32  | 富山市               | 長慶寺の五百羅漢祭り           | 4月18日、10月21日   | 30    |

| No. | 市町村               | 祭り名（別名）                  | 行事日                   | 掲載頁   |
|-----|-------------------|--------------------------|-----------------------|-------|
| 33  | 富山市               | 東猪谷・伏木・舟渡・小糸・吉野・寺津・町長の湯釜 | 春秋の祭りの日(4月15日・10月16日) | 31    |
| 34  | 立山町               | 西大森の水神様の祭り               | 4月24日                 | 32    |
| 35  | 魚津市               | 龍石神社の雨乞い祭り               | 5月15日頃                | 32    |
| 36  | 富山市               | 於保多神社の鸞替え                | 5月25日                 | 33    |
| 37  | 富山市               | 諏訪神社の亀替え                 | 5月29日                 | 33    |
| 38  | 氷見市               | えびす講（魚取祭）                | 5月20日、11月20日          | 34    |
| 39  | 富山市<br>砺波市        | 牛嶽大明神例大祭                 | 6月6日、10月2日            | 34    |
| 40  | 高岡市               | 利屋町の天神祭り                 | 5月25日前後の日曜日           | 35    |
| 41  | 氷見市<br>高岡市        | ひとつやいと                   | 6月1日、7月1日             | 36    |
| 42  | 南砺市               | 井波の八乙女山風神堂祭典             | 6月1日後の日曜日             | 37    |
| 43  | 富山市               | 妙国寺の万代常閑報恩祭(常閑祭)         | 6月5日                  | 37    |
| 44  | 県内各地              | 虫送り                      | 6～7月                  | 38・39 |
| 45  | 富山市               | 有沢地内の時の記念日ドン打上げ          | 6月10日                 | 39    |
| 46  | 砺波市               | ヨータカ                     | 6月10日                 | 40    |
| 47  | 富山市               | 雨乞い岩の雨乞い祈願               | 6月第2土曜日               | 41    |
| 48  | 射水市               | 阿弥陀堂祭り(あんだはんまつり)         | 6月15日                 | 41    |
| 49  | 砺波市               | 金屋岩黒の岩黒不吹堂祭祀             | 6月18日                 | 42    |
| 50  | 黒部市               | 三日市のじんじん祭り               | 6月25日                 | 42    |
| 51  | 滑川市               | マンドウサマ                   | 6月～11月                | 43    |
| 52  | 県内各地              | 夏越しの大祓え                  | 6月あるいは7月晦日            | 44    |
| 53  | 富山市               | 川倉不動滝の滝開き                | 7月11日                 | 44    |
| 54  | 県内各地              | 富山県内の七夕行事                | 7月7日または8月7日           | 45～47 |
| 55  | 高岡市               | 二塚三口用水の水神祭(和合祭り)         | 7月13日                 | 48    |
| 56  | 高岡市               | 戸出大清水の馬頭観音祭              | 7月13日                 | 48    |
| 57  | 南砺市               | 是安の風祭り(不吹堂の祭り)           | 7月15日、12月5日           | 49    |
| 58  | 南砺市               | 縄ヶ池の祭り                   | 7月15日                 | 49    |
| 59  | 小矢部市<br>石川県       | 三国山ごんげん様の祭礼              | 7月15日                 | 50    |
| 60  | 氷見市               | 脇方の小麦団子の祭り(小麦粉の祭り)       | 7月18日                 | 50    |
| 61  | 県内各地              | 地藏盆(地藏祭、地藏尊祭)            | 7月下旬または8月下旬           | 51～55 |
| 62  | 黒部市<br>入善町<br>朝日町 | 御影様                      | 6月～7月                 | 56    |
| 63  | 南砺市               | ネツオクリ(熱送り)               | 7月20日前後の日曜日(土用の三番)    | 57    |

| No. | 市町村                           | 祭り名（別名）                | 行事日                 | 掲載頁   |
|-----|-------------------------------|------------------------|---------------------|-------|
| 64  | 南砺市                           | 善徳寺虫干法会                | 7月22～28日            | 58    |
| 65  | 南砺市                           | 瑞泉寺太子伝会                | 7月21～29日            | 58    |
| 66  | 富山市                           | 猿倉社の二十五菩薩の祈祷           | 7月25日前後の土日          | 59    |
| 67  | 滑川市                           | 本江の転地講                 | 7月27日               | 59    |
| 68  | 高岡市                           | 木町神社の御書祭               | 7月末～8月初旬の日曜日        | 60    |
| 69  | 富山市                           | 町長の住吉権現祭礼              | 8月1日午後              | 60    |
| 70  | 富山市                           | 町長・布尻の行者様祭り            | 8月1日午後              | 61    |
| 71  | 富山市                           | 東薬寺の滝又薬師法会             | 8月8日                | 61    |
| 72  | 氷見市                           | コンゴウ（魂向会）              | 8月上旬                | 62    |
| 73  | 富山市                           | 本法寺の曼荼羅絵図風入れ法要         | 8月初旬                | 63    |
| 74  | 小矢部市                          | 宮永正運墓前祭                | 8月15日               | 63    |
| 75  | 県内各地                          | オショウライ（精霊来、御精霊）        | 8月13日               | 64～66 |
| 76  | 氷見市                           | 光久寺の御開帳（太子伝会）          | 8月15～16日            | 66    |
| 77  | 高岡市                           | 千保川水天宮祭り（千保川灯籠流し）      | 8月16日               | 67    |
| 78  | 高岡市                           | 高岡山町筋の夏祭り              | 8月中                 | 67～69 |
| 79  | 氷見市                           | 平諏訪神社の諏訪祭り（スワドの祭り、風祭り） | 日程不定（本来は8月27日）      | 70    |
| 80  | 高岡市                           | 西念寺の御開帳（太子伝会）          | 8月22～24日            | 70    |
| 81  | 高岡市                           | 鉄砲町・白銀後町の天神祭           | 8月24～25日            | 71    |
| 82  | 氷見市                           | 沖波諏訪社のタヤの宮の祭り          | 8月25日（本来は10/18）     | 71    |
| 83  | 氷見市                           | 宇波神社のしとぎ献供             | 4月15日、9月16日         | 72    |
| 84  | 高岡市                           | 戸出大清水の水神祭              | 9月1日                | 73    |
| 85  | 射水市                           | 放生津八幡宮の放生式             | 10月2日               | 73    |
| 86  | 南砺市                           | 城端愛宕社の祭礼               | 10月5日               | 74    |
| 87  | 南砺市                           | 瑞泉寺の報恩講                | 10月1～3日（本来は11月）     | 74    |
| 88  | 南砺市                           | 上梨のセック                 | 10月8～9日             | 75    |
| 89  | 入善町                           | 十三寺の御開帳                | 10月13日              | 76    |
| 90  | 高岡市                           | 和田神明社の御印祭（佐助祭）         | 10月15日              | 76    |
| 91  | 氷見市                           | 伊勢玉神社の柿天神（天神祭り）        | 10月25日              | 77    |
| 92  | 小矢部市                          | 慈光院の火渡り                | 10月17日              | 77    |
| 93  | 富山市                           | 岩稲八幡社の神送り・神迎え          | 10月下旬の日曜日・11月下旬の日曜日 | 78    |
| 94  | 南砺市                           | 善徳寺の報恩講（オシチャハン、御七昼夜）   | 11月中                | 78    |
| 95  | 黒部市                           | 下立のおおべっさま迎え            | 11月20日、1月20日        | 79    |
| 96  | 射水市                           | 下村加茂神社の煤払祭             | 12月25日              | 79    |
| 97  | 南砺市                           | 歳の大市                   | 12月27日              | 80    |
| 98  | 各地                            | 年越しの大祓え                | 12月下旬～晦日            | 80    |
| 99  | 氷見市                           | 小境の大晦日の宮籠もり            | 12月31日～1月1日         | 81    |
| 100 | 富山<br>市<br>氷見<br>市<br>入善<br>町 | 庚申講                    | 60日に一度の庚申の日など       | 82・83 |
| 101 | 入善町                           | 一宿の観音講                 | 不定期                 | 83    |

平成19年度

「とやま文化財百選」選定委員会委員

加藤 享子

佐伯 安一

陶 智子

本庄 清志

安カ川恵子（五十音順・敬称略）

編集・発行 富山県教育委員会 生涯学習・文化財室  
富山市新総曲輪 1 - 7  
電話 076-444-3456  
<http://www.pref.toyama.lg.jp/>

発行年月日 平成20年 3月  
印 刷 株式会社 橋本確文堂